



Kusatsu Field Work

第12回人と環境にやさしい交通をめざす全国大会in広島 報告

まちと交通の未来づくりフォーラム 第2～4回（地域フィールドワーク）

草津フィールドワーク



- 主催：人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀
- 協力：しがローカルSDGs研究会（SL2）（草津FW運営事務局）

滋賀

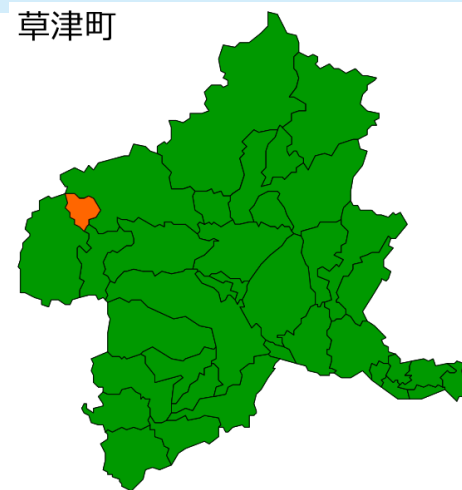
草津・ どこ？



広島市西区 草津

人口 11,805人 / 18.5万人 (西区)

やさしい交通



群馬県吾妻郡草津町

人口 6千人

とある アンケートでは
(草津はどこ?)

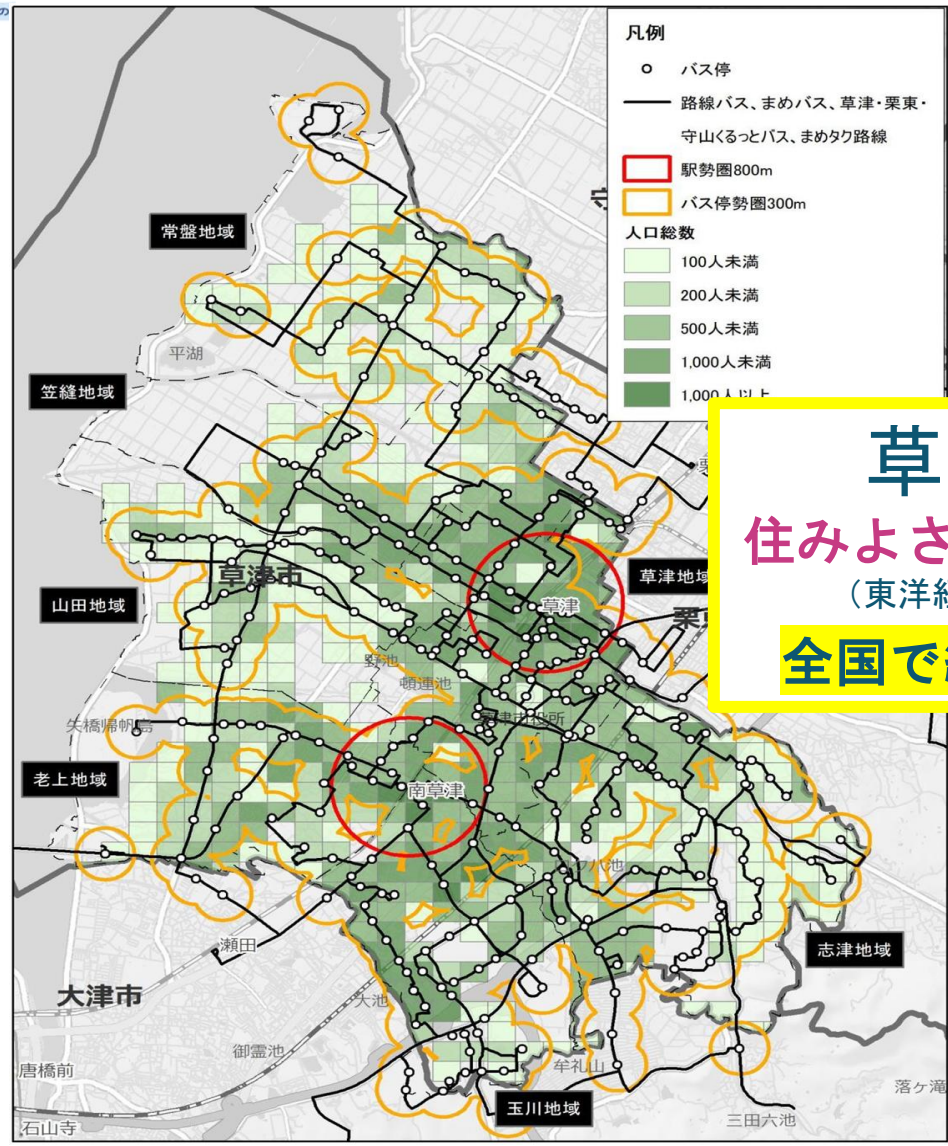
群馬県草津町	56.7%
滋賀県草津市	36.7%
広島市草津	6.6%



人口 14.9万人

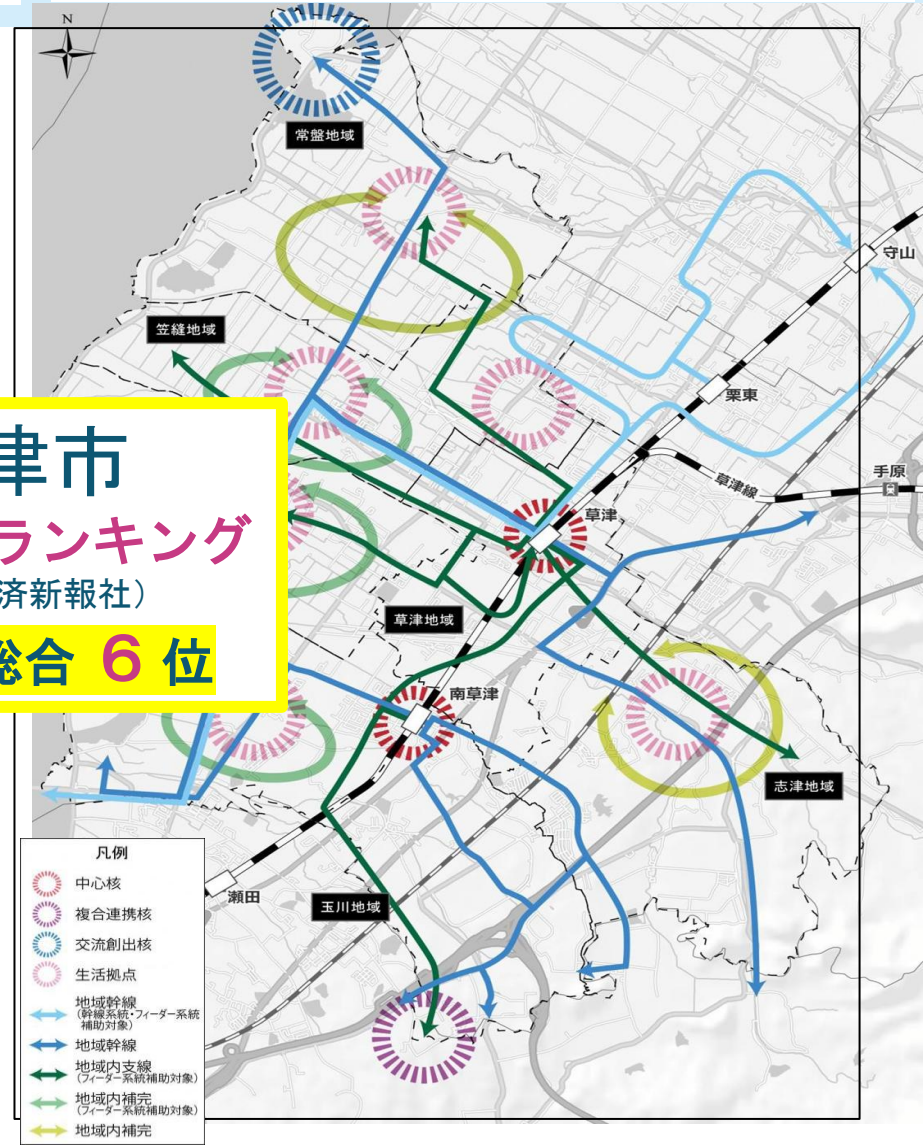
プラットフォーム滋賀

地域公共交通（バス・鉄道）人口カバー率



草津市
住みよさランキング
 (東洋経済新報社)
全国で総合 6 位

将来の地域公共交通ネットワーク図



草津市地域公共交通計画より



全国ランキングは上昇中！

	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1位	野々市市 (石川県)	武蔵野市 (東京都)	野々市市 (石川県)	人吉市 (熊本県)	福井市 (福井県)
					6位 草津市
				10位 草津市	
			20位 草津市		
		38位 草津市			
	42位 草津市				

やさしい交通しが：人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム滋賀



近畿では、常に上位ランク！

順位	2021年	2022年	2023年	2024年	2025年
1位	大阪市 (大阪府)	大阪市 (大阪府)	草津市 (滋賀県)	大阪市 (大阪府)	大阪市 (大阪府)
2位	草津市 (滋賀県)	葛城市 (奈良県)	御坊市 (和歌山県)	御坊市 (和歌山県)	草津市 (滋賀県)
3位	葛城市 (奈良県)	草津市 (滋賀県)	葛城市 (奈良県)	草津市 (滋賀県)	御坊市 (和歌山県)
4位	箕面市 (大阪府)	箕面市 (大阪府)	大阪市 (大阪府)	神戸市 (兵庫県)	神戸市 (兵庫県)
5位	吹田市 (大阪府)	吹田市 (大阪府)	箕面市 (大阪府)	新宮市 (和歌山県)	新宮市 (和歌山県)



フィールドワーク@草津 ～誰もが暮らしやすいまちづくりを考えよう～

1回目「自分のまちと課題をもっと知ろう」

<日時> 10.19(日) 13:30～16:30

<会場> 「キラリエ草津」401 会議室
(JR草津駅 東口より徒歩5分)

- ・「知っ得！公共交通の家計簿」
松原 光也(名古屋大学大学院環境学研究科 講師)
- ・交通でまちづくりを考えるワークショップ



参加者
34名

「想い」を出し合う

- ・まちの交通の課題は？
- ・困りごとは？

2回目「暮らしと交通の現場を見に行こう」

<日時> 各グループで調整予定

- ・テーマ別のグループに分かれて視察・体験します。



参加者
計28名

実際に現場を見て考える

- ・自転車で走ってみる
- ・バスに乗ってみる
- ・渋滞を体験してみる

3回目「未来のまちをみんなで描こう」

<日時> 11.9(日) 13:30～16:30

<会場> 草津市立市民交流プラザ 中会議室
(JR南草津駅前フェリエ南草津5階)

- ・「知っ得！福井の市民パワー」
清水 省吾(交通ライター)
- ・未来へのチャレンジ
ワークショップ



参加者
22名

未来のまちを考える

- ・私たちのまちをどうしたい？
- ・どうすれば、そうなる？

参加費
無料

定員
各回20名

Kusatsu Field Work 1

趣旨説明

10/19 交通にかかわる社会問題



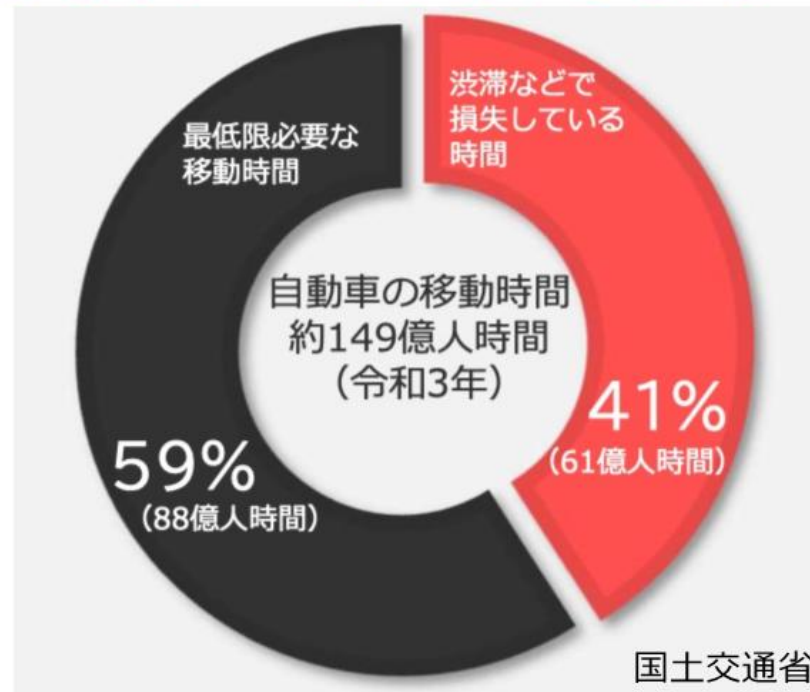
塩見 康博

立命館大学 教授

滋賀地域交通活性化
協議会会長

- 渋滞…

移動時間の41%が渋滞によるムダ時間



Kusatsu Field Work 1

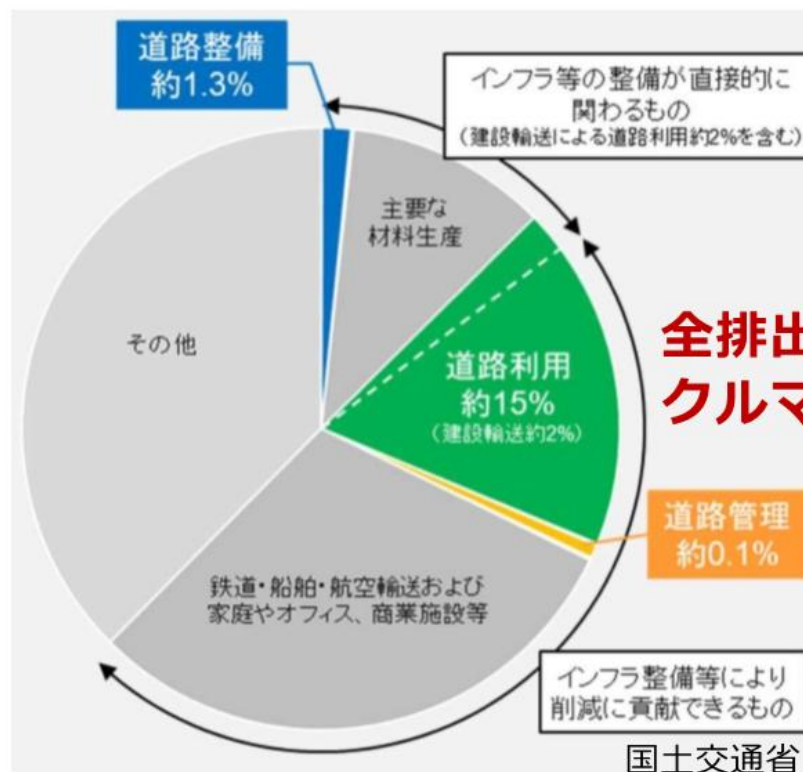
趣旨説明

10/19 交通にかかわる社会問題



塩見 康博
立命館大学 教授
滋賀地域交通活性化
協議会会長

• 環境



Kusatsu Field Work 1

趣旨説明

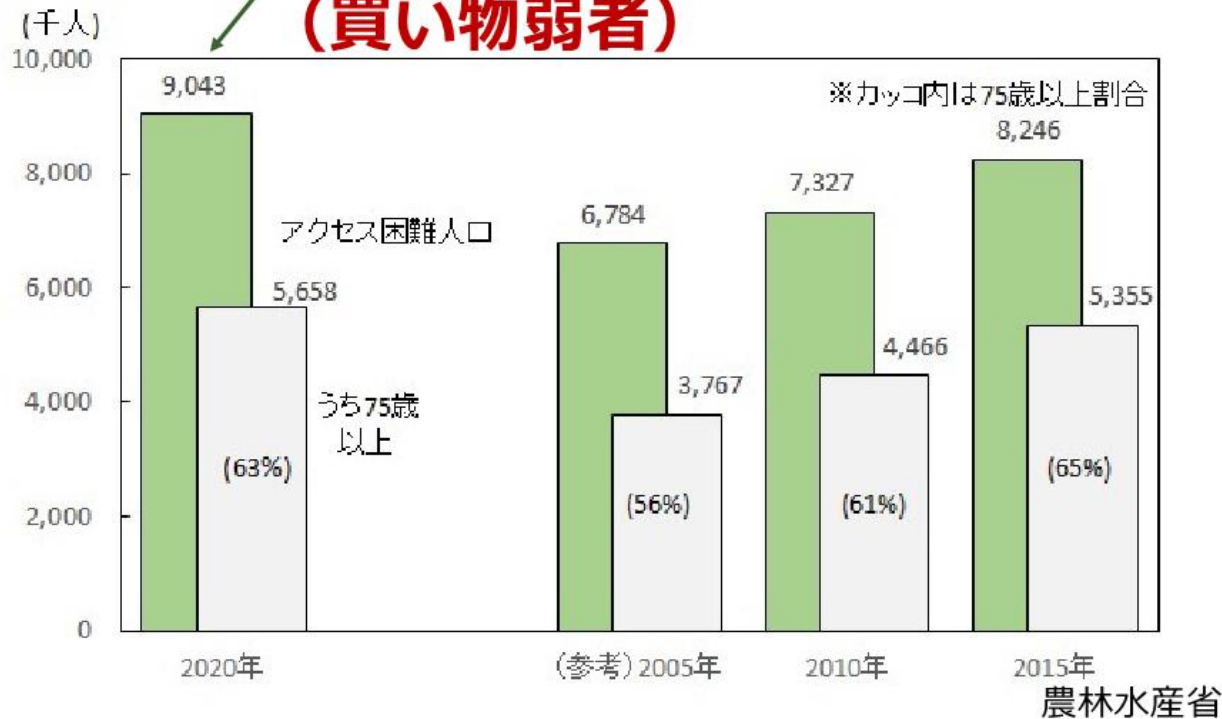
10/19 交通にかかわる社会問題



塩見 康博
立命館大学 教授
滋賀地域交通活性化
協議会会長

・くらし

904万人が食料品アクセス困難
(買い物弱者)



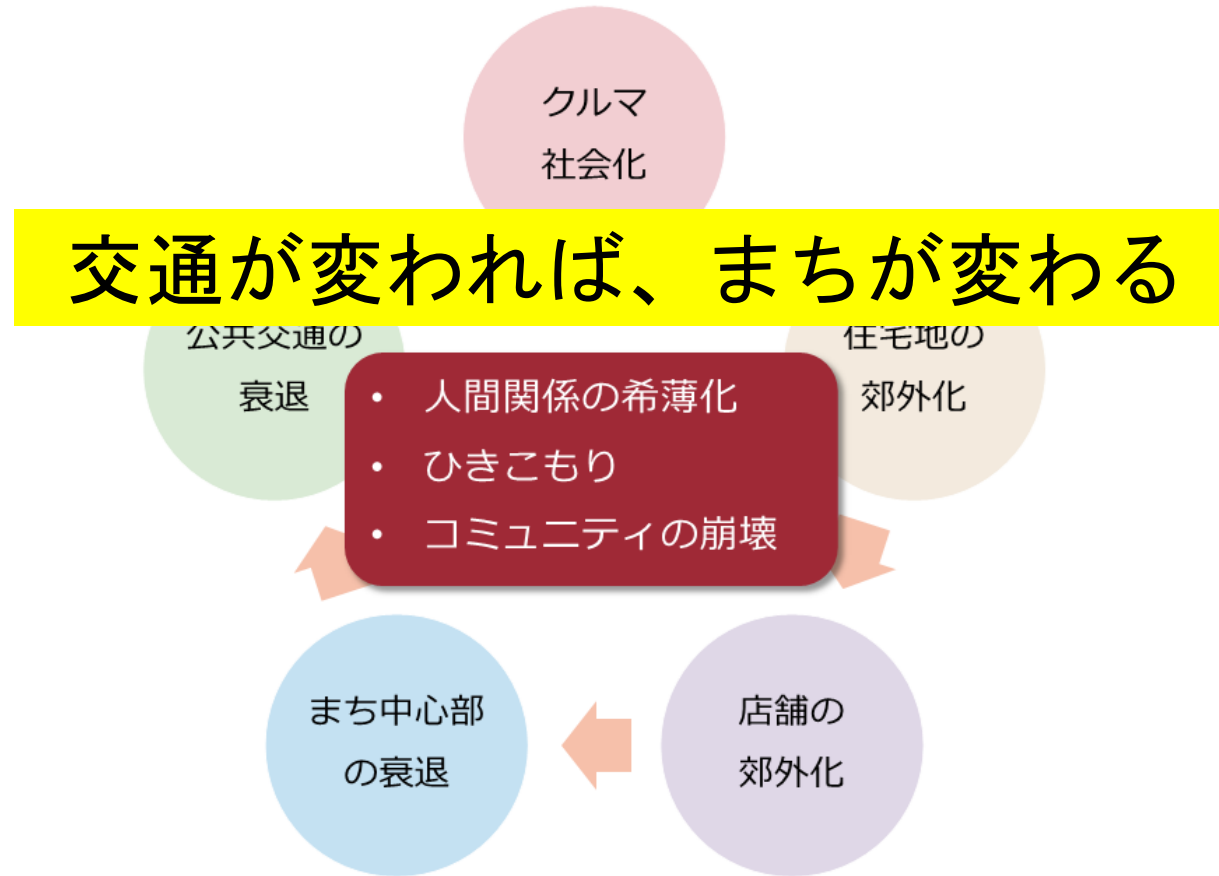
Kusatsu Field Work 1

趣旨説明

10/19 まちと交通の負のスパイラル



塩見 康博
立命館大学 教授
滋賀地域交通活性化
協議会会長



Kusatsu Field Work 1

10 講演「未来につながる交通まちづくり」

駐車場を遠くにしたら、昔の賑わいが戻ってきた



山田 和昭
日本鉄道マーケ
ティング代表

交通が街のカタチを変える

出雲大社と神門通りが
歩かせて賑わいを作る



https://www.homes.co.jp/cont/press/buy/buy_00321/

歩かせて、賑わいを作る

拝殿横にあった
駐車場を移転して
神門通りを歩かせる



駅を離して
神門通りを歩かせる

Kusatsu Field Work 1

10/19 車両通行止めにしたら、まちがにぎわった



山田 和昭
日本鉄道マーケ
ティング代表

アムステルダム

環状道路の内側は
人・自転車が主役
公共交通=街のエレベータ
自由に歩け、賑わい増す



歩行者を主役にし、さらに賑わい

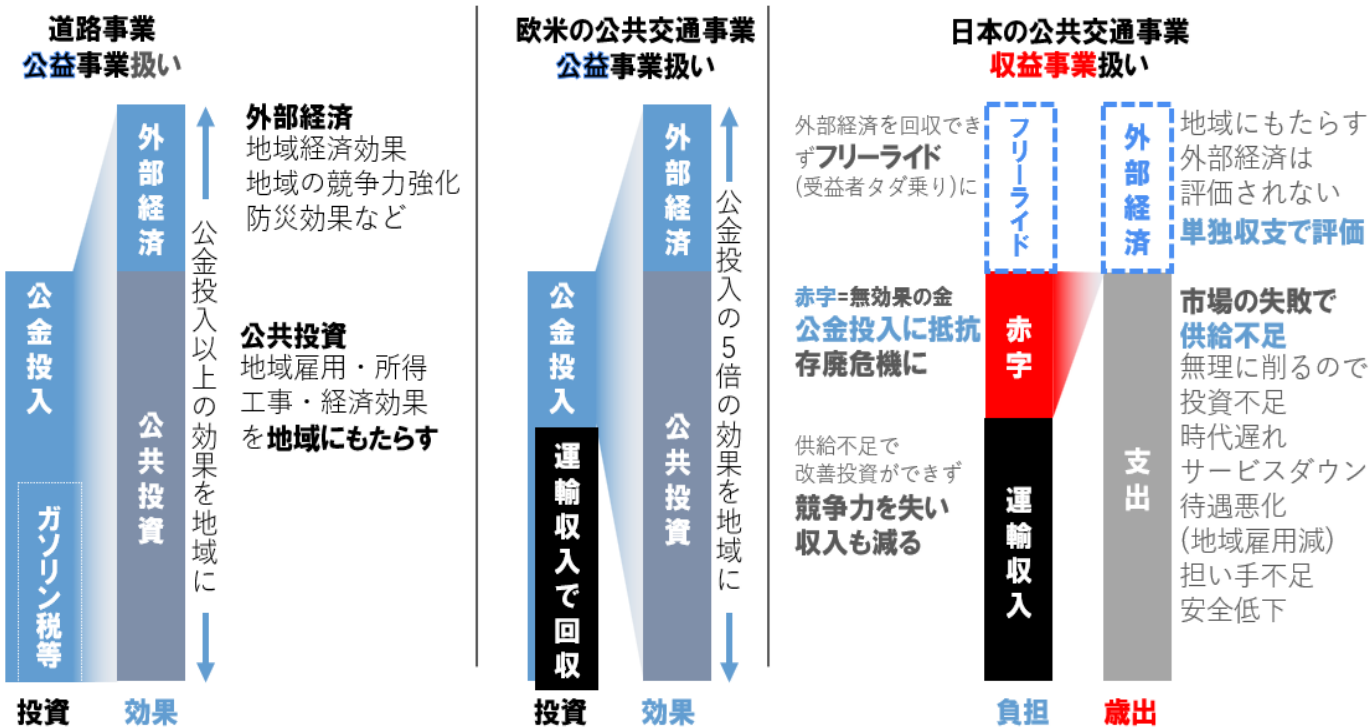
交通が変われば、まちは変わる

Kusatsu Field Work 1



山田 和昭
日本鉄道マーケティング 代表

10/19 ・ 欧米では、「社会資本への投資」として公共交通に税金を投入
 ・ 日本では、（事業者が）儲からないから投資できない



日本の公共交通だけ「赤字」が問題になる。外部経済(公共性)を考えよう

日本の常識は、世界では非常識？

やさしい交通しが：人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム 14 滋賀



Kusatsu Field Work 1



ワールドカフェ方式のワークショップ
「こまちワークショップ」

15分×4ラウンド

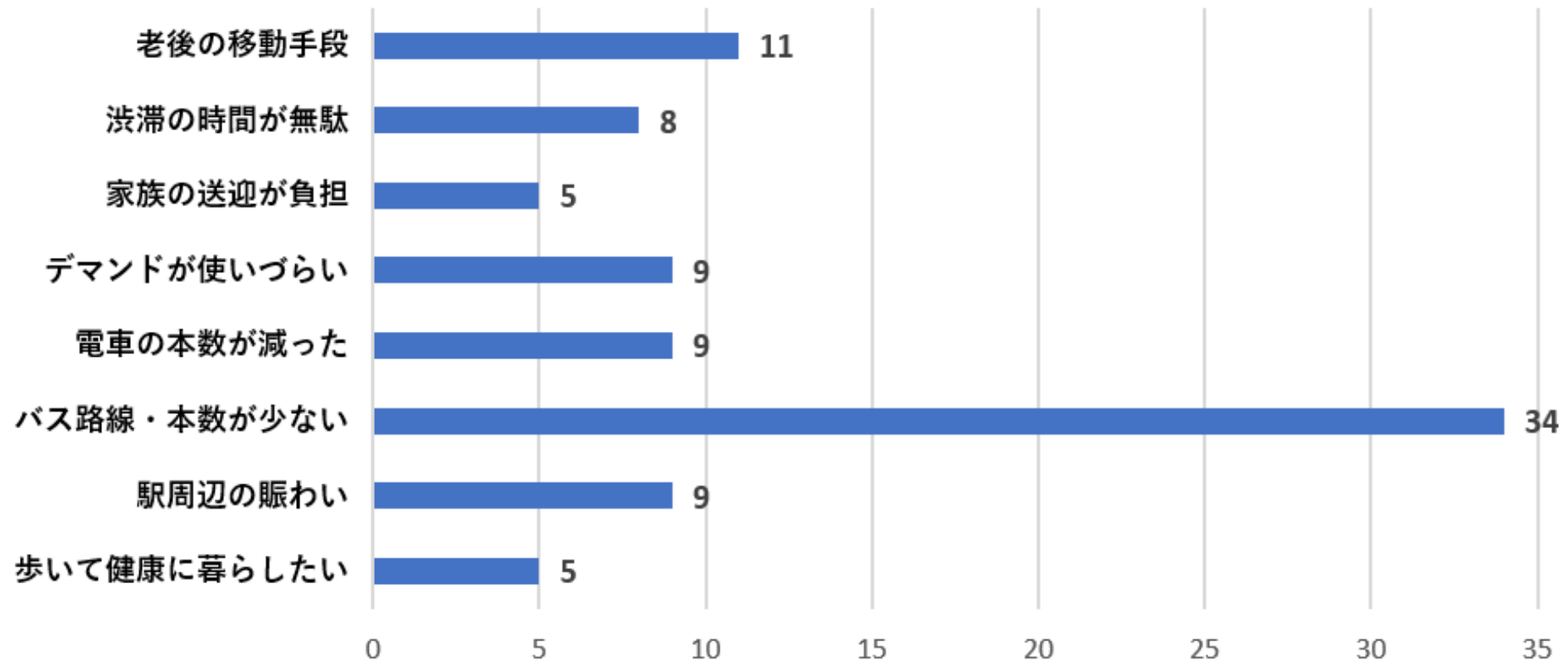




あなたのまちの交通課題・困りごとは？

10/19

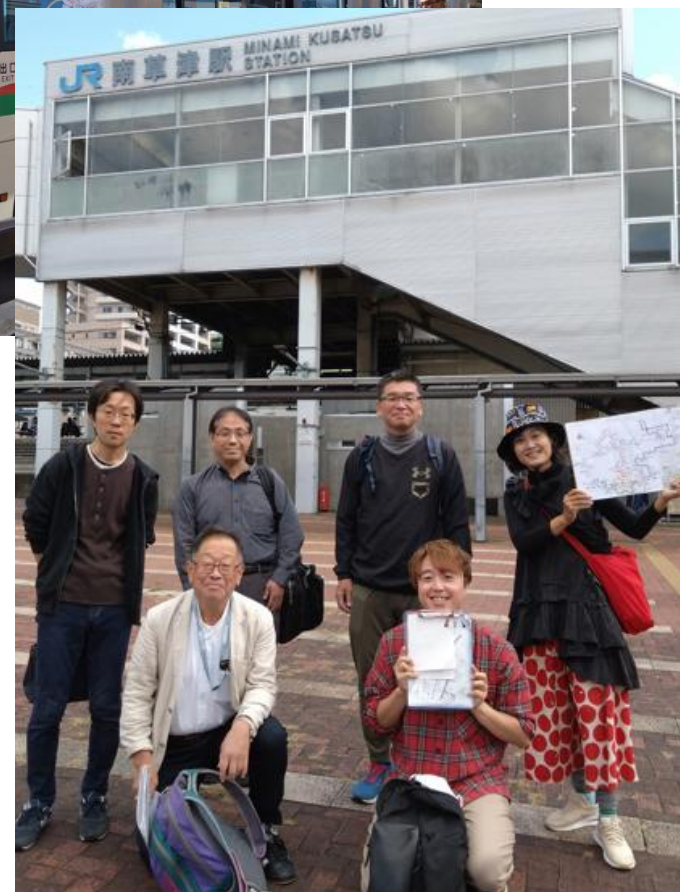
草津FW1「こまちワークショップ」でふせんに書かれた項目（数の多かった項目のみ）



やさしい交通しが：人と環境にやさしい交通まちづくりプラットフォーム **16** 滋賀



草津フィールドワーク 2-①



バス活用で楽々移動
名所にも行けるまち

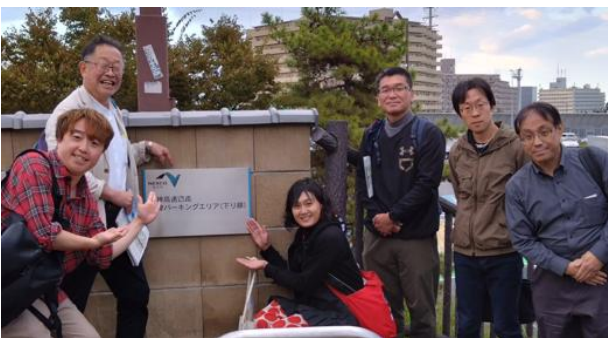
FW開催日：11/1（土）

コーディネーター：大塚佐緒里

バス活用で楽々移動・名所にも行けるまち 11/1



古代の製鉄所遺跡



草津PA

参加者の声

- ・バスに乗ってみると「まちの表情」がまったく違って見えた
- ・バスで買い物や、観光地に行くことはできる
- ・でも日常使いするには、やっぱり不便・・・
- ・クルマや自転車は高齢になると乗れない
- ・バスの本数が増えて、便利なまちになると良いと思った



草津フィールドワーク 2-②



ワクワクの 新交通システムと 未来のまち

FW開催日：11/4（火）

コーディネーター：芝久生



ワクワクの新交通システムと未来のまち 11/4



- ・新交通システムで渋滞緩和、利便性向上
- ・湖南地域に導入する議論は2000年から
- ・2016年から連節バス 現在2台が運行



「新交通」賛成派・反対派に分かれてディベート

賛成

- ・まちの活性化、新たな需要創出
- ・観光客の呼び込み、CO2削減・渋滞緩和
- ・移動しやすく、中心街に人を集める効果

反対

- ・コストがかかる、効果に見合わない
- ・自家用車と現状の公共交通で十分

※実は、本当は全員「賛成派」だった？ ！
後賀





草津フィールドワーク 2-③



公共交通と自転車
快適なまち

FW開催日：11/2（日）

コーディネーター：南村多津恵



公共交通と自転車で快適なまち 11/2



「謎解きサイクリング」イベントに参加
自転車道が整備されている道は快適に走行
一部、走りにくい自転車道も

参加者の声

- 車道はこわくて走りたくない
- 生活道路はクルマ優先で走りにくい
- どこを走っていいのかわからない場所がある
- 自転車の走行ルールがよくわからない

輪の国びわ湖推進協議会・藤本芳一会長

- 世界では自転車は車道通行が当たり前
- 交通は弱者優先が原則

講演 「知っ得！公共交通の家計簿」

バス事業は厳しい状況に追い込まれています。

- 悪循環 利用者の減少 ⇔ 運行サービスの低下
- 運行経費 > 運賃収入
数千万円のバスを購入するのに1人200円の運賃で
どれだけの人が乗ってもらわないといけないか？
- 運行経費 < 運賃収入 + 社会全体の利益
バスが走っていることにより、クルマを使えない人の
足となり、環境問題への寄与、地域の活力にもなる



松原光也
名古屋大学大学院
環境学研究科講師

どんな商品も品質（サービス）がよくなければ売れない

道路と公共交通の予算配分の格差

- ・ 道路予算 約80,000億円（8兆円）
- ・ 公共交通 約 2,000億円弱

道路予算のわずか2%程度

「公共交通は事業者が自力でやれ」が国の方針？

道路と同じくらい予算をかければ、
公共交通のサービスを良くして、利用者も増やせるのに



松原光也
名古屋大学大学院
環境学研究科講師

道路は、車が走れば走るほど環境負荷が増大し、渋滞が増える
つまり**外部不経済**が増加する

しかし、自動車メーカーもドライバーも、その負担は何もしていない

- ・ ガソリン価格高騰を緩和する補助金
(2022年1月～2023年9月) **6.2兆円**
- ・ 全国の鉄道・バス事業者の売上合計
7.5兆円

この予算を公共交通に回せば、
1年間、鉄道・バスを無料にできる！



松原光也
名古屋大学大学院
環境学研究科講師

話題提供「交通まちづくりで市民が果たす役割 ～福井における事例から考える～

2016年、福井鉄道とえちぜん鉄道が
相互乗り入れを実現 ※本格的なトラムトレイン

トラムトレイン＝路面を走行するLRTの車両（LRV）が既存の鉄道路線を利用（トラックシェアリング）することで、新規に大規模な路線を建設することなく、LRTのネットワークを構築し、郊外の住民を都市の中心に運び入れることができる交通システム



清水 省吾
交通ライター





Kusatsu Field Work 3 11/9



低床ホームと
高床ホームが
スロープでつながる
駅のホーム



清水 省吾
交通ライター



パーク＆ライド駐車場
福井は利便性向上の中心的
施策として、
1400台規模の
パーク＆ライドを推進

Kusatsu Field Work 3

京福電鉄が、二度の正面衝突事故（2000年12月、2001年6月）
国土交通省より福井県内全線の**運行停止**を命じられる



- ・ 幹線道路の渋滞激化
- ・ 家族の送迎の手間
- ・ 子どもたちの進学への制約 . . .

マイナスの社会実験

地域全体が大混乱！



清水 省吾
交通ライター

**鉄道の再評価と共に、
地域住民による存続運動が盛り上がる**

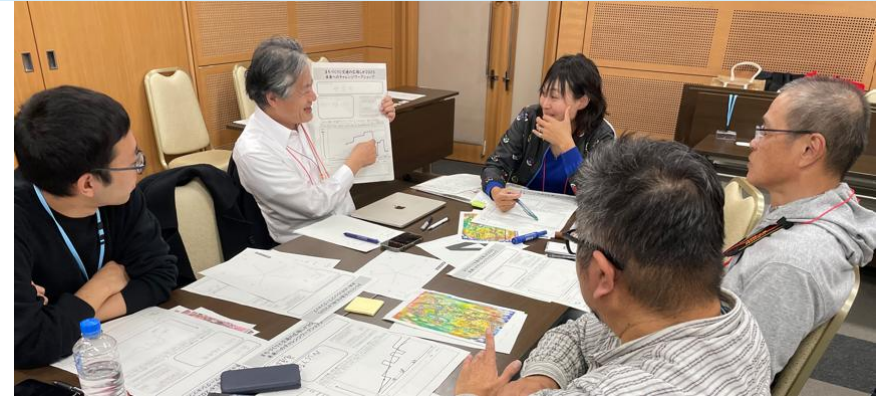
市民団体「ROBA」の活躍により

- ・ 県： 軌道・設備費を負担
- ・ 沿線市町村： 運営と利用促進で進むことが決まる

**県が支援、沿線市町村が中心となり
「えちぜん鉄道株式会社」設立へ**



Kusatsu Field Work 3 11/9



未来へのチャレンジワークショップ

コーディネーター：上田 洋平

滋賀県立大学地域共生センター 特任講師



- ・ **移動の自由**
 - ・ 誰でも自由に移動できる（子ども、高齢者、障がい者）
 - ・ 時間のロスがなくなる
- ・ **思考の自由**
 - ・ 自分の好きなことができる
 - ・ 飲んでも帰れる
 - ・ 読書や仕事、趣味の時間が増える
- ・ **交流の自由**
 - ・ 駅や乗り合わせでコミュニティが広がる
 - ・ 人と人との交流やきずなが生まれる
 - ・ 空間ににぎわいを生むことができる
- ・ **生活の自由**
 - ・ 家族の送迎が不要になる



・仲間を増やす

- ・ 交通に関わる課題を周りに話す、知らせる
- ・ 待ち合わせは「駅」にする



・非利用者に乗ってもらうしかけ

- ・ バスの路線、乗り方を分かりやすく示す
- ・ 公共交通の専門家を育てて派遣する仕組み
- ・ イベントを開き、公共交通についてクイズやゲームで楽しく広める



・とにかく利用する

- ・ まず、自分が公共交通に乗る！
- ・ 交通税を払う



Kusatsu Field Work

ご参加ありがとうございました！

- ・ 仲間を増やす
増えました！

